

シビルベテランズ&ボランティアズ(CVV)

リタイア後も社会貢献を続ける 土木技術者OBらが 元気にボランティア

まちの チカラ

Power of Town



小学生の総合学習の一環として行われる「レッツゴープラン」で講師役を務める北村さん

高齢化社会の問題がクローズアップされている昨今ですが、当のシニア世代は、現役世代よりむしろ自由で元気かもしれない。そんな元気なシニアの中でも、関西の土木技術者OBらを中心とした人たちが集まったのが「シビルベテランズ&ボランティアズ(略称・CVV)」です。長年にわたって培ってきた経験を生かして、社会貢献することを生きがいに、アクティブな活動を繰り広げています。



市民を対象としたまちの見学会は、高い人気を誇っています

どこへでも手弁当で駆けつける 元気なシニアの心意気



「今の様な技術や機械のない時代に、どのようにして土木工事が行われていたのかを次の世代へと伝えていきたい」と話す北村さん

CVVは土木学会関西支部の研究グループ「フォーラムシビルコスモス(FCC)」から生まれた任意団体で、行政や民間企業で働いていた土木技術者OBを中心とした人たちが、生きがいづくりと社会貢献を目的に平成11(1999)年に旗揚げした組織です。現在、実際の活動に携わっているのは50数人。そのほか、メーリングリストの登録会員が約50人。60歳代を中心としたオジサンたちが、長年の知識と経験を生かして活動しています。

CVVの組織は「まちづくりグループ」と「アドバイスグループ」から構成されています。まちづくりグループは都市計画に関心のある者たちが集まり、「まち探検隊」の実施や、まちづくりコンベンなどへの応募を行っています。最近では話題の大阪駅北ヤードコンベンにも提案書を出しました。

一方のアドバイスグループは、行政が主催する「土木の教室」などのイベントを支援したり、小学生の総合学習の講師などを務めて、若い世代に土木事業のすばらしさを伝えていきます。まちづくりの歴史を学ばば必ず、川を掘り、道を通してきた土木事